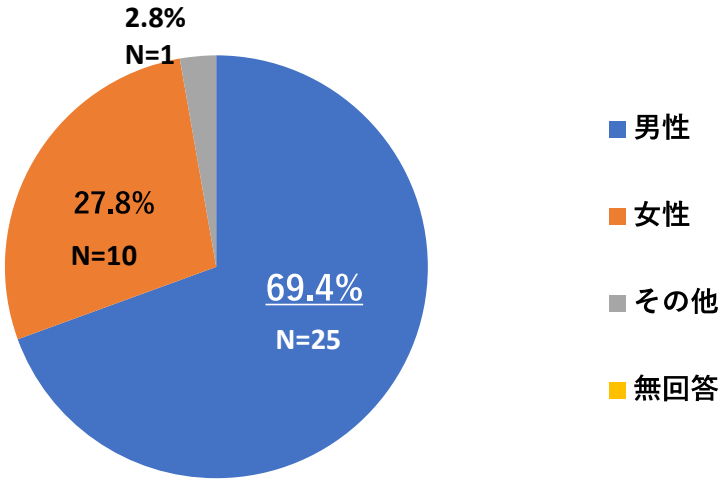
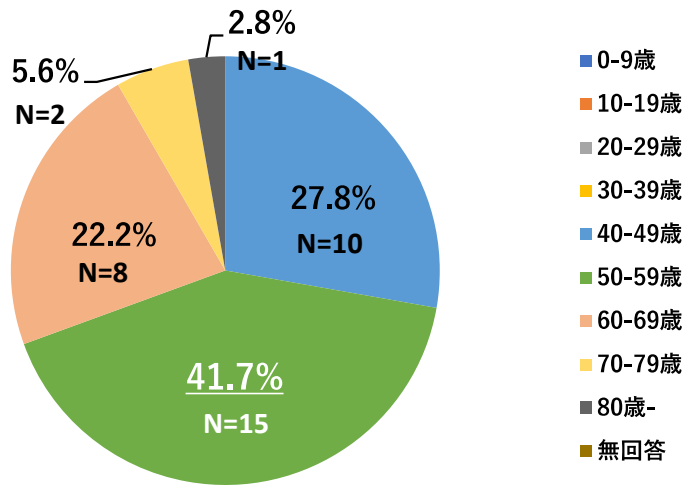
まちなみづくりシンポジウム　アンケート集計結果

Q1. あなたの性別、年齢等についておしえてください。（あてはまる番号に○をつけてください）

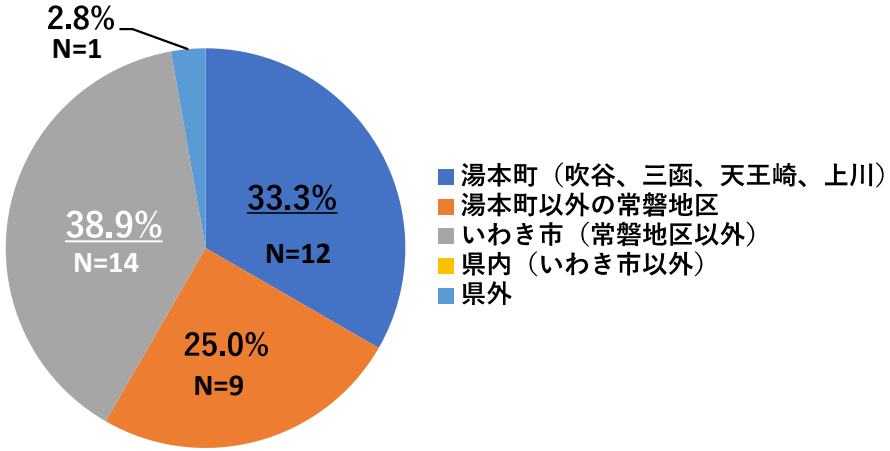
Q1-1.　性別をおしえてください。【N=36】



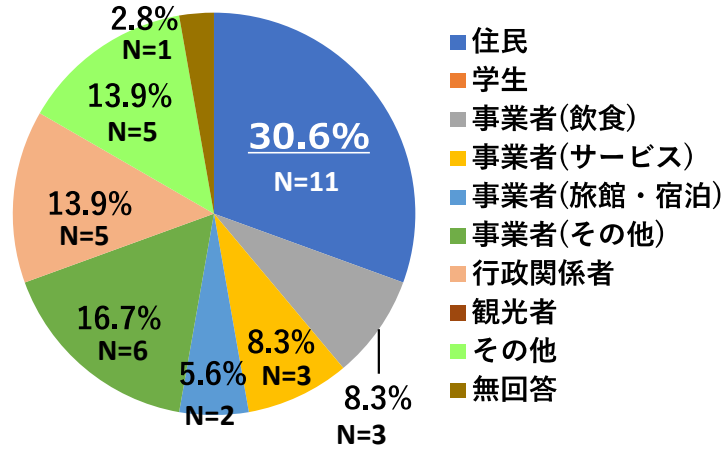
Q1-2.　年齢をおしえてください。【N=36】



Q1-3.　住んでいる場所をおしえてください。　【N=36】



Q1-4.　湯本にどのような関わりがありますか。【N=36】



Q2. シンポジウムを通して、印象に残っていること、感じたことをおしえてください。

Q2-1. 本日のシンポジウムに参加して気付いたこと、新しい発見をお書きください。

キーワード	回答例（抜粋）
• 災害対策 • 夜間の照明（防犯）	• 照明灯がある道が少ない（道がせまいはなるほどです） • 誰もが安全に暮らせる場所なので災害のあった場所、危険性のあるところを改善する
• 新規出店のチャンス	• 湯本は観光地としてポテンシャルも高いと思うので新店舗出店のチャンスはある
• まちなみの保全	• ふるい街並みをのこす
• 行政との共催 • 若者の意見 • 再開発事業の情報共有	• こういうシンポジウムはもっと早くやるべきだったと思います。 • 行政も共催という形式で開催するべき • 高校生などの若い方の意見がとても新鮮だった • 課題は山積しているのでテーマを絞らず様々な意見を聞くのが良いのではないか • シンポジウムまでの話が参加者の多くと共有できていない
• 観光目線、住民目線	• 住民視点か観光視点か通勤通学視点かでまちづくりの方向性がかわる • 街づくりと再開発を一緒に考えすぎている
• 問題の多様化 • 駅前の再開発	• 細かな問題が沢山あることに気づきました • 駅前の開発をどう考えていくのか、そこがポイントと感じた。 • 細かな問題が山積しているが、これを機に話し合いながら、住民、観光客が楽しめるまちをめざしたい
• 可処分所得	• 街が元気になるためには社会全体で経済が回っている必要がある。可処分所得を多くの方が持っていてこそ。
• シンポジウムの開催方法について	• 参加人数が多くて良かった • 魅力の感じ方は人それぞれちがうこと • 質問の内容が大まかで回答しにくい

Q2. シンポジウムを通して、印象に残っていること、感じたことをおしえてください。

Q2-2. 観光客も含めた地区外からの来訪者に対し、あなたは湯本の街（駅前や温泉街）のどんなところを紹介しますか？

キーワード	回答例（抜粋）
• フライベント • フラのまち	• フラガールのストーリー、フラのまち、フラ女将 • フライベント
• 温浴施設、旅館足湯 • 泉質、湯量	• 温浴施設や旅館の温泉（立ち寄り湯）、鶴の足湯や駅前の足湯 • 他の温泉地に比べて泉質がよい、湯量が多い、昔は湯壺が多かった
• 神社仏閣 • 常磐炭坑 • 童謡館	• 温泉神社、金毘羅神社 • いわき市石炭・化石館 ほるる、炭礦の歴史、常盤炭鉱の歴史 • 童謡館
• カフェ、飲屋 • お土産屋	• カフェや喫茶店、飲み屋 • デザート（とうふソフトクリームなど）、お菓子
• まちあるき、散策 • 路地 • オープンスペース	• のんびり散策できる街（温泉・カフェ・飲食・イベント施設・土産店・オープンスペース） • 裏路地 • 国内では比較的上位の住みやすい気候
• 温泉地の発信力 • 客層の変化	• 他の温泉地に比べて発信力が弱い • 宿泊者もファミリー単位が多数に変化してきていると思う。観光客ファミリーの満足度をあげる施策が大事

Q2. シンポジウムを通して、印象に残っていること、感じたことをおしえてください。

Q2-3. 湯本に新しい事業者が集まる方法や行政サポートについて、ご意見をお聞かせください。

キーワード	回答例（抜粋）
• 空家バンク • 空き店舗と出店希望者のマッチング	• 空屋の積極的な活用ができる行政によるサポートが必要 • 空き店舗と出店企業者のマッチング（空き家バンクなど）
• チャレンジショップ • 空き屋利用	• 若い人がチャレンジしたくなる場所（ハード）の提供（安価無償） • 少ない投資で若者などが個性的な店を出店できる仕組み（チャレンジショップ、空き家利用など） • 新規事業を始めたい若者に家賃補助 • 出典事業者の創業支援
• 若者をターゲットにした小売業 • 観光客の集客	• シンポジウムの中で若い人を呼び込むためのカフェ・古着などもっと集客できるようなアイデアが必要 • コンテンツ開発（観光視点）
• ワークショップ • 説明会の実施	• 観光客みなさんに参加型ワークショップ • 企業やサイドビジネス等の市民や事業者向けの説明会の実施
• 賃貸条件の緩和 • 税制優遇、減税措置	• 所有者の賃貸の条件緩和 • 個人事業主や小規模事業者に対する減税措置や税制優遇措置
• 医療施設	• 利便性を良くして、総合病院をもってくる
• 行政側のサポート	• 行政側のサポートが見えない。見にくい。 • 行政でサポートしても事業者自身に魅力や力がないと継続は難しい。

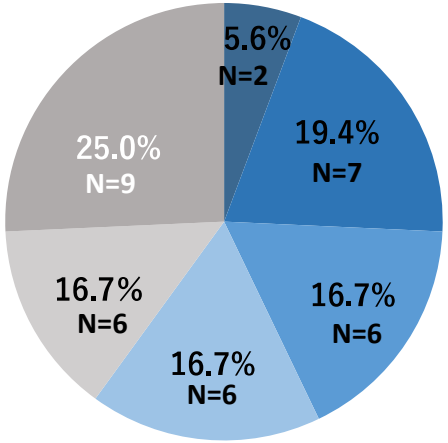
Q2. シンポジウムを通して、印象に残っていること、感じたことをおしえてください。

Q2-4. 今後、まちづくり会社にしてほしいことについて、ご意見をお聞かせください。

キーワード	回答例（抜粋）
• 空き家の調査 • 空き家の保全と活用	• 空き家の取り壊しの阻止と活用 • 空き家などのむかしながらの建物の保全、リサーチ
• 温浴施設、旅館足湯 • 泉質、湯量	• 無料駐車場を増やしてほしい • あちこちに無料の駐車場
• 官民連携 • 事業の説明	• 官民との連携、説明をもっとしてほしい • 行政頼みではなく、自ら考え行動してほしい
• 学習スペース、自習室 • 多世代が集まる場所	• 学習スペースの設置など、高校生の意見を無駄にしないでほしい • 高校生中学生が滞留できる場所（自習室など）をつくる • 若い人～高齢者が世代間越えて集まれる場所
• 意見の集約	• 市民意見の集約 • 開発会社が先頭にたっていることにおどろいた。知らないことが多いという人がまだまだいます。もっともっと住人の話しを聞いてほしい • 生活している住民の意見をちゃんと聴取して活かしてほしい。

Q3. まちなみづくりのルールについて おしえてください。

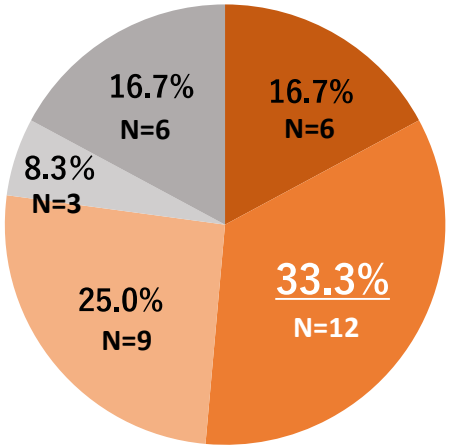
Q3-1. 湯本における屋外広告物のルールについて どのように考えますか？【N=36】



〇その他にいただいた意見（抜粋）

- 市全体と同じ基準でいいのでは？
- 自由が一番だが、統一感があるように
- 統一感があるように
- 市の屋外広告物のルールと同様でよい
- 『まちなみ』自体を魅力と捉えて集まれる事業者が、大きく制限されてしまわないよう留意が必要
- 自由が一番

Q3-2. 建築等の外観づくり（色、素材など）に関するルールについてどのように考えますか？【N=36】



〇その他にいただいたご意見（抜粋）

- 外観より用途の規制を。商業地は商売がしやすいようなルールにしてほしい
- 自由が一番
- 昔からのまちなみの保全やまちなみの雰囲気を残せるようなルールにしてほしい
- 規制によって、地域の経済格差の発生や多様性の排除にもなりかねない
- 外観づくりのために社会弱者が排除されることにもなり得る懸念がある
- 「稼ぐ」ということに注力しすぎると、結果的に社会を壊すことに繋がることに留意が必要

Q4. 自由記述（シンポジウムに参加した感想など）

キーワード	回答例（抜粋）
• バリアフリー • 災害対策	• 障がい者や高齢者、児童など誰もが安心して生活できる街づくりを目指していきたい • 災害心配です（熱海のようになるのはやめてほしい）
• 広場 • 誰もが休める場所 • 駅前に魅力的な店	• 現状の湯本駅前は以前のにぎわいがなく、昔から広場的なスペースがない • 地域住民や観光客等が楽しく過ごせるような町（街）づくりのスタートとなる駅前再開発に賛同 • 駅前には木を植えて誰もが休める場所をまず欲しい • 駅前にも、魅力的なお店が集まるようにしてほしい
• SNSでの発信 • 温泉を活かしたお土産 • インバウンド	• SNSでの発信を多くしてほしい • 今後、人口減やインバウンドなど考えるといわき市外からの集客が必要 • 温泉を活かしたお菓子や何かお土産になれば
• 自転車、バイク利用者	• 自転車、バイクの長距離（10日以上）ツアーの若者が格安で泊まれるよ場所があるとよい
• まちなみの保全 • リノベーション • 地域資源の活用 • 街灯を増やす • 足湯の活用 • 公共交通の見直し	• 今ある建物やお店をブラッシュアップしていく。そのための補助をひきだす 常磐市民会館の話題→棟方志功（ムナカタシコウのドンチョウ）などの地域資源を生かす • 表町通りの一方通行など、道路の変更には疑問 • 街灯を増やしてほしい • 小さな東京みたいな街（どこにでもあるような）をつくっても面白くない • 足湯だけでなく、周りに温泉を利用して気軽に飲食できるようなお店や場所がほしい • 今、走っているような大きなバスではなく、もう少し小さなバスを走らせ本数を増やし、 走っていないところまで行ってくれるような公共交通が欲しい
• シンポジウムの継続実施 • 住民意見の回答 • 実証実験の結果報告	• 出てきた意見に対してはどんな形でも返答してほしい返答なければ意見する気を無くなる • シンポジウム等増やしてほしい。 • 意見がいえる場は大切。これ以上ひどくならないための話し合いをしたい • 表町通りの実証実験の結果報告